

書協・図書館報告集発行	1
在日仏大使館主催、フランス絵本展覧会	2
国立国会図書館、開館70周年	2
書協コラム 著作権～よくある質問～	3

書協・図書館報告集発行 「公共図書館の役割と蔵書、出版文化維持の ために」

日本書籍出版協会（=書協）図書館委員会は、「公共図書館の役割と蔵書、出版文化維持のために」（ISBN978-4-89003-146-7、B5判・77頁、定価本体 800円+税、書協会員頒価650円）を2018年4月20日に発行した。

本書は、2017年10月に日本図書館協会主催の第103回全国図書館大会東京大会の場で書協が開催した分科会の記録集であり、図書館における本の選書について、各分野の出版社がそれぞれの視点からの考え方を提示し、公共図書館における蔵書やその役割について議論し、理解を深めるのに資することを目的としている。

分科会には、出版側から、みすず書房・取締役相談役の持谷寿夫書協図書館委員会委員長、文藝春秋の松井清人社長、岩波書店の岡本厚社長が登場し、図書館関連の有識者として慶應義塾大学の根本彰教授が発表した。それぞれの視点から、現在の出版ビジネスの実態、「文庫本」の考え方、図書館と出版の関係等について発言した内容の全文と、その後のパネルディスカッションの全記録を掲載している。また、分科会を聴講した来場者へのアンケートの全回答も収録している。

本書を通じて、図書館の根幹であり、また、出版との関係をつなぐ「本」＝「資料」の「選書」について考察し、出版側の考え方や、公共図書館の選書の現状を考える。また、本書は、図書館と出版が率直に意見を出し合い、互いの抱える課題を共有しながら、両者の新たな関係構築への道を拓いていくための必読の一冊となっている。

■購入・注文方法

注文書URL：

http://www.jbpa.or.jp/pdf/documents/toshokan_order.pdf

メール注文：お名前、連絡先（TEL/E-mail）、「書名」を記入の上、info@jbpa.or.jp宛にメールにて注文。

■目次

1. 報告集の発刊にあたって（日本書籍出版協会 図書館委員会）
2. 第103回全国図書館大会 第21分科会 記録
[第1部] 発表報告
司会進行 成瀬雅人（㈱原書房社長・書協図書館委員会副委員長）
①持谷寿夫（㈱みすず書房取締役相談役・書協図書館委員会委員長）
「図書館界と出版界の協働の現在と今後」
②根本 彰（慶應義塾大学文学部教授）
「出版と図書館を考える」
③松井清人（㈱文藝春秋社長）
「文庫は借りずに買ってください」
④岡本 厚（㈱岩波書店社長）
「総合出版社の立場から」
[第2部] パネルディスカッション（コーディネーター 持谷寿夫）
3. アンケート・質問項目 集約結果
4. 分科会を終えて
① 根本 彰「『図書館での文庫本の貸出』について」
② 松井清人「図書館は文庫を貸し出さないでください」
③ 岡本 厚「全国図書館大会第21分科会 アンケートを読んで」
5. 図書館関係者からのコメント
本分科会に参加してみて、図書館と出版界との関係と協働について考える
①千野国弘（山梨県立図書館）
②池本幸雄（元国立国会図書館副館長）
6. まとめの言葉にかえて
図書館と出版界は卵とニワトリ？：森 茜（公益社団法人 日本図書館協会理事長）

(問合せ先 書協・調査部 TEL 03-3268-1303)

フランス展覧会 「絵本の世界にようこそ」



日仏交流160周年にあたる今年、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本では、「絵本の世界にようこそ」巡回展覧会を開催する。

同大使館では、2015年より日本の出版社と読者に向け

て、フランスの絵本の振興を目的として絵本をテーマとする企画を開催している。今年はフランスの絵本についての専門家であるパスカル・アンベール氏を招聘し、日本各地（名古屋・東京・関西）で展覧会とワークショップを開催する。

本展覧会は、14の展示パネルを使い、絵本の古典白黒のアルバム、物語、子供向けのテキスト、飛び出す絵本などを紹介する。また、日本語とフランス語の絵本を会場で実際に手に取って閲覧できる展示となっている。そのほかにも、一般、大学教員、出版界向けのセミナーや、子供向けのワークショップを予定している。

◆巡回展示

- 6月1日～17日 名古屋市立図書館
6月23日～7月8日 東京都立中央図書館
7月14日～29日 アンスティチュ・フランセ 関西・京都

◆パスカル・アンベール氏

グラフィストで、1992年にツールーズにグラフィスト養成団体を共同設立し、フランス国内と海外で活動している。子供のための絵本とアルバムの専門家でもあり、雑誌、アルバム、文学のグラフィックも手掛けている。2014年には、展覧会をフランス大使館と共同主宰し、バルセロナとマドリッドのアンスティチュでも展覧会を主宰した。さらに、教育者として、子供のためのワークショ

ップの講師を務め、学生のためのセミナーをヨーロッパと南米でも企画。

◆過去の展示会



(2016年のソウル展示会)



(詳細問合せ アンスティチュ・フランセ日本
03-5798-6008)

国立国会図書館

開館70周年-過去を読み、未来を読む-

国立国会図書館は、昭和23（1948）年に、国会議員の調査研究に資するため、国会法及び国立国会図書館法によって、国会に属する図書館として設置され、今年、開館70周年を迎えた。開館以来国会活動の補佐、資料・情報の収集・保存、情報資源の利用提供の主要な役割を担いつつ、紙の図書、雑誌、新聞からCD-ROMなどの電子媒体、さらにはオンライン資料、ウェブサイトの形態にまで拡大し、また利用環境も来館サービスから始まり、遠隔複写サービス、データベースやポータルサイトの拡充、デジタル化済資料のインターネットでの提供などからも資料・情報にアクセスできる利用環境を整えてきた。

今年の開館70周年を記念して、同館では様々なイベントを展開していく。記念シンポジウムや展示会は、一般の参加、来場が可能となっており、国立国会図書館ならではの取組や貴重なコレクションに触れる機会となっている。直近のイベントは以下の通り。

■納本制度70周年記念国際シンポジウム

○テーマ：納本制度の過去・現在・未来—デジタル化時代における納本制度の在り方について—

○日時：平成30（2018）年6月又は7月に開催

○詳細HP：http://www.ndl.go.jp/jp/70th_anniversary/index.html

(詳細問合せ 国立国会図書館 Tel 03-3581-2331)

書協会員限定！出版ミニセミナー オーディオブックセミナー

日本書籍出版協会（＝書協、相賀昌宏理事長）では、書協の会員社限定で、ミニセミナーを定期的に行っている。

今回は、5月15日（火）15:00から「各社の事例から学ぶオーディオブックの市場（仮）」を開催する。

2012年に行ったオーディオブックセミナーの第2段となる。大変好評だった前回のセミナーからオーディオブック市場はどのように変化したのか。市場全体についてと各社の事例からオーディオブックを紐解く。

オーディオブックのユーザー、市場のポテンシャル等の総論について、日本のオーディオブック市場をけん引するオトバンクの上田会長から、またオーディオブック分野で売上を伸ばしている出版社から、オーディオブックに向くコンテンツ等について自社の事例を紹介してもらう。

日時：5月15日（火）15：00～17：00

場所：日本出版会館4F大会議室

対象：書協会員社（先着40名）

受講料：1人2,000円（税込）（当日現地にて支払い。
領収書を発行。）

締切：5月14日（月）

申込先：<https://goo.gl/forms/iY2RldmtwZDA685n2>

（詳細問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-3268-1303）

【書協コラム】

著作権～よくあるお問合せ～

書協では、知的財産権委員会の設置や、出版契約書ヒナ型や契約書ハンドブックの発行など、著作権に関する活動を行っております。また、会員サービスとして、著作権講師派遣や電話などで著作権に関する問合せを受けております。

今回、問合せの多い質問をいくつか紹介したいと思います。

◆引用・転載、利用許諾の取り方に関すること

Q. 出版物に別の出版物の内容の一部、引用したいと思います。どの程度であれば、自由に使っても構わないのでしょうか？

A. 他人の著作物を利用する場合には、その著作物の著作権者の許諾を得て使うことが大原則です。しか

し、著作権法では、いくつかの場合において、その許諾なしでも使うことを認めています。その中でも代表的なものひとつが「引用」です。引用と認められるためには、長らく「主従関係」「明瞭区別性」という、最高裁判決によって判断された二つの要件が必要であるとされてきました。「主従関係」とは、**他の著作物を引用することによって新たに作られる著作物が「主」、引用されるものが「従」の関係になること**を言います。この場合、主従関係の有無は、引用するものとされるものとの間の内容の関係性によって判断され、必ずしも分量の多寡には依らないとされてきました。この考え方は今でも支持されていますが、最近の高裁レベルの判決で、**より著作権法の条文そのものに引き付けて引用の解釈を行う例が出てきており、引用の基準については過渡期であるともいえます。**具体的な案件に際しては、安易に引用であると思わず、慎重に判断をされることが必要です。

Q. 著作者が複数いる場合、許諾は全員に取らなければならないのでしょうか？また、著作権の保護期間はどのようになるのでしょうか？

A. **共同著作物の場合は、原則、著作権の共有者全員の合意が必要となります（著作権法第65条）。**また、その保護期間は、**最後に亡くなられた方の死後50年**となります。ただし、複数の著作者の創作部分がそれぞれ区分できる場合（章ごとに個別に執筆されたもの等）は共同著作物ではなく、**個々の著作物の集合体**にすぎません。利用許諾および保護期間は個々の著作者ごとに判断することになります。

※共同著作物＝二人以上の者が共同して創作した著作物で、その各人の寄与を分けて個別に利用することができないもの

書協HP「著作権Q&A」コーナーでは、上記のような「引用・転載に関すること、利用許諾の取り方に関すること」「出版契約に関すること」「著作者の所在に関すること」「剽窃・無断使用など著作権侵害に関すること」等が掲載されております。ぜひ一度ご覧ください。

【書協サイト・著作権Q&A】

<http://www.jbpa.or.jp/copyright.html>

また、書協会員社への出張著作権基礎講座を実施しております。事前の参加者からの質問や各社の出版分野に沿ったカスタマイズした講座を目指しています。

（詳細問合せ 書協調査部 03-3268-1303）

出版統計

書籍	3月期	前年同月比	1～3月期	前年同期比	書籍出回り	3月期	前年同期比	1～3月期	前年同期比	
新刊点数	6,455点	98.3	17,531点	100.5	推定出回部数	11,670万冊	96.2	27,932万冊	95.8	
新刊推定発行部数	2,842万冊	98.9	7,827万冊	99.1	推定出回金額	1,395億円	97.6	3,323億円	96.9	
新刊平均価格	1,201円	100.7	1,183円	100.0	推定出回平均価格	1,196円	101.5	1,190円	101.3	
新刊推定発行金額	342億円	99.5	926億円	99.1	実売部数	3月期	前年同期比	1～3月期	前年同期比	
月刊誌	3月期	前年同月比	1～3月期	前年同期比	書	籍	7,924万冊	95.4	18,331万冊	95.6
発行銘柄数	2,194点	95.8	2,613点	97.4	月刊誌	7,687万冊	83.2	19,037万冊	84.5	
推定発行部数	13,277万冊	86.1	34,152万冊	88.4	週刊誌	2,851万冊	88.2	7,867万冊	87.0	
平均価格	665円	101.1	649円	100.9	実売金額	3月期	前年同期比	1～3月期	前年同期比	
推定発行金額	883億円	87.0	2,217億円	89.2	書	籍	1,017億円	96.8	2,308億円	96.7
週刊誌	3月期	前年同月比	1～3月期	前年同期比	月刊誌	508億円	84.1	1,220億円	85.4	
発行銘柄数	75点	101.4	76点	100.0	週刊誌	101億円	89.8	279億円	88.9	
推定発行部数	4,532冊	91.2	12,755万冊	90.0	実売金額合計	1,626億円	92.0	3,807億円	92.2	
平均価格	366円	101.9	366円	102.5						
推定発行金額	166億円	93.1	467億円	92.2						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

4月20日～6月20日 **期間限定 謝恩価格本販売フェア**

内容 92社・約1150点が本体価格の45%引きで販売

<http://www.bargainbook.jp>

5月8日 **全出版人大会** (主催 日本出版クラブ)

5月26日13時～15時「**すべては思索から—ワリー・デ・ドンケル国際児童図書評議会会長講演会**」(会場 国際子ども図書館 アーチ棟1階研修室1)

書協入会のご案内

日本書籍出版協会では、新規会員・賛助会員を募集しています。会員社による新規会員の紹介については、ご紹介いただいた会員社への特典もございます。詳細のお問い合わせは以下まで。

書協・総務部 TEL 03-3268-1302 ✉ info@jbpa.or.jp

編集後記

GWいかがお過ごしでしたか。GW中に子どもと「おしりたんてい」をTVの再放送で見ました。「おしりかじり虫」「うんちドリル」大人になると言わなくなる言葉が子どもには魅力的な言葉のようです。

(あ)

図書館報告集(1面記事)は、多くの予約注文をいただきました。先月は、調布市立図書館にお邪魔し、選書選定会議を見学しましたが、司書の皆さんの姿に感銘を受けました。(吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL:03-3268-1301

FAX:03-3268-1196

Web サイトもご覧ください

<http://www.jbpa.or.jp>